

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：母子保健指導費

事業名 新生児マススクリーニング検査実証事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

子ども・女性部 子育て支援課 母子保健係

電話番号：058-272-1111(内3542)

E-mail：c11236@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 57,817 千円 (前年度予算額： 36,923 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	36,923	18,461	0	0	0	0	0	0	18,462
要求額	57,817	28,858	0	0	0	0	0	0	28,959
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

先天性代謝異常等は、異常に気付かず放置すると知的障害や乳幼児突然死等を引き起こす可能性があるため、新生児の段階でマススクリーニング検査を実施し、異常の早期発見、早期治療につなげるものである。

令和 3 年度から重症複合免疫不全症等の追加検査の体制が整備された。重症複合免疫不全症の児が、定期予防接種であるロタウイルスワクチンやBCGを接種した場合、重篤な副作用を起こし死に至ることもある。脊髄性筋萎縮症は発症する前に予防することで予後良好とされているが、不可逆的であり、一度発症すると症状の改善は難しい。現在有償による検査を実施しているが、実証事業に参加することで、家庭事情に関わらず全ての新生児が検査を実施できることを目的とする。

(2) 事業内容

①新生児マススクリーニング検査に関する実証事業

生後 4 ～ 6 日に採血した児の検体を委託検査機関で検査。精密検査が必要と判断された場合には専門医療機関への受診を勧奨。養育支援は保健所が必要に応じて実施。患児の治療においては、東海マススクリーニング推進協会を中心として行われる。国の新生児マススクリーニング検査に関する実証事業に参加し、2 疾患（重症複合免疫不全症及び脊髄性筋萎縮症）を対象とするマススクリーニング検査を実施し、国の調査研究と連携・協力を行う。

②岐阜県新生児マススクリーニング検査

国の実証事業に参加を希望しない方で県に申込みをした場合に、2 疾患（重症複合免疫不全症及び脊髄性筋萎縮症）に関する検査を実施する。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ①国1/2、県1/2
- ②県10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	35	業務旅費
需用費	756	リーフレット印刷代
役務費	26	郵便代・電話代
委託料	57,000	検査委託・精度管理委託
合計	57,817	

決定額の考え方

--

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・岐阜県こども計画
- ・岐阜県保健医療計画
- ・岐阜県障がい者総合支援プラン

(2) 国・他県の状況

すべての都道府県において、タンデムマス法を用いた20項目の検査を実施しており、追加検査（重症複合免疫不全症等の有料検査）についても、検査体制及び診療体制が整備されている。

国において、重症複合免疫不全症や脊髄性筋萎縮症を対象とした新生児マススクリーニング検査実証事業が実施され、令和6年度は27都府県11市が参加している。

(3) 後年度の財政負担

重症複合免疫不全症等の受検率を高めるため、県においては公費負担を継続して行っていく。

(4) 事業主体及びその妥当性

新生児マススクリーニング事業は、県が主体となって実施すべきであると通知されている（平成30年3月30日付け子母発0330第2号）。現状20疾患の中に重症複合免疫不全症、脊髄性筋萎縮症は含まれていないが、先天性代謝異常検査とは、異常を早期に発見し、その後の治療・生活指導等につなげることにより、生涯にわたって知的障害などの発生を予防することを目的とした検査であることから、これら2疾患においても、県として実施していくことは妥当である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

重症複合免疫不全症に罹患している場合、早期発見することにより、すべての新生児がロタウイルスワクチン、BCG等の生ワクチンによる重篤な副反応を予防する。また、脊髄性筋萎縮症に罹患している場合、発症前に発見することで早期治療を開始し、非罹患児と変わらない発達が見込める。

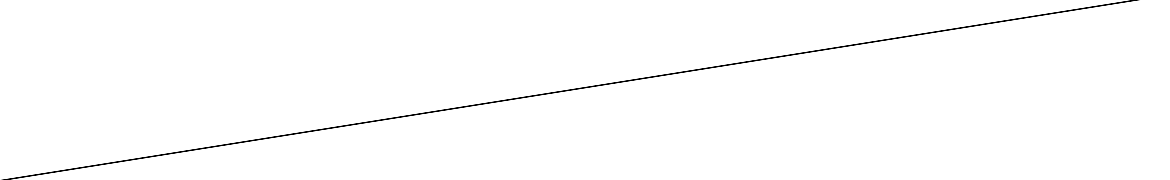
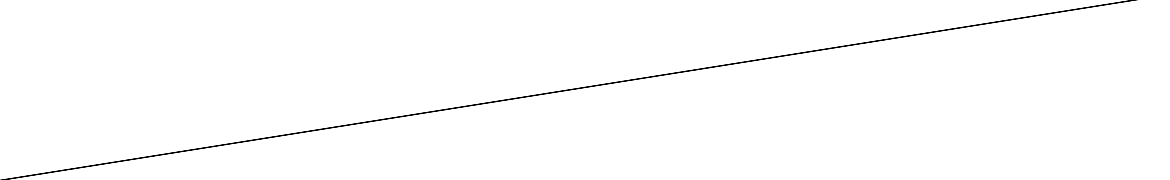
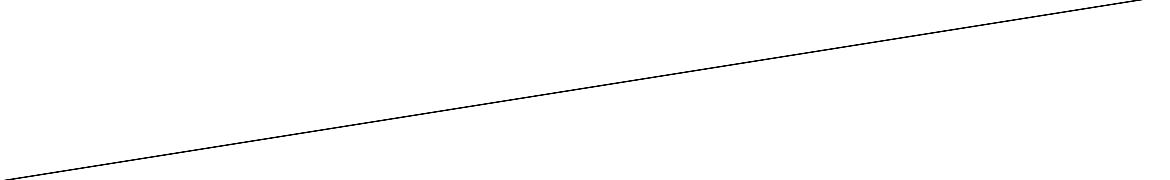
（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

検査体制の維持、診断された児のフォロー体制の整備が本事業の目的であり、目標の達成度を定量的な指標で表すことができない。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	 <p>指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %</p>
令和5年度	 <p>指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %</p>
令和6年度	 <p>指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価)

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3：期待以上の成果あり
2：期待どおりの成果あり
1：期待どおりの成果が得られていない
0：ほとんど成果が得られていない

(評価)

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている

(評価)

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

随時、現場の課題等を把握し、情報を共有しながら課題の解決に向けた検討が必要である。また、発見された児に対するフォロー体制の強化が必要である。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

すべての新生児が2疾患（重症複合免疫不全症及び脊髄性筋萎縮症）を対象とするマススクリーニング検査を受検し、疾患を早期発見し適切な医療及び支援につなげていくため、今後も継続して事業を実施する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課
組み合わせる理由
や期待する効果 など

【〇〇課】